

付表1から付表14に記載した数値等を記載してください。

条例施行規則別表1の指定施設の名称及び事業所内での名称を併記してください。

第16条関係) (表)

指定施設ごとに記入し、書ききれない場合は、この様式の例により作成した書類に記入してください。同一の施設を複数有する場合で、全く同じ内容を変更する場合には、まとめて記入してください。

数値の算出根拠を記入してください。

公害防止方法変更概要書

予測値について記入

公害防止対策について記入

施設ごとに記入

変更に係る公害 発生源の指定施設	61(1)ボイラー BS-1		変更区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 更新 <input type="checkbox"/> 構造変更 <input type="checkbox"/> その他 ()	
発生する公害の種類	公害の程度 の予測値又は実測値				
	発生源		排出口、敷地の境界線等		
	変更前	変更後	変更前	変更後	算出根拠
(排煙) ばいじん (g/Nm ³)	0.07	0.05	0.07	0.05	メーカー保証値
Sox (ppm)	2.8	2.5	2.8	2.5	燃料中の硫黄分
Nox (ppm)	80	45	80	45	メーカー保証値
騒音	88dB	81dB	30dB	20.8dB	距離減衰・建屋減衰
振動	70dB	62dB	40dB	36dB	距離減衰
発生する公害の種類	公害防止対策及び予測値の算出根拠				
	変更前		変更後		
排煙	公害防止装置なし		変更なし		
騒音	距離減衰・建屋減衰		変更なし		
振動	距離減衰		変更なし		
変更に係る公害 発生源の指定施設	64(1)表面処理施設 P-6		変更区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 更新 <input type="checkbox"/> 構造変更 <input type="checkbox"/> その他 ()	
発生する公害の種類	公害の程度 の予測値又は実測値				
	発生源		排出口、敷地の境界線等		
	変更前	変更後	変更前	変更後	算出根拠
排水	—	—	—	—	公共下水道接続
排煙	—	—	—	—	排煙指定物質の 使用等なし
発生する公害の種類	公害防止対策及び予測値の算出根拠				
	変更前		変更後		
排水	公共下水道接続		変更なし		
排煙	排煙指定物質の使用等なし		変更なし		

排煙・粉じん・悪臭・排水（排水指定物質・BOD・COD・SS等）・騒音・振動、地下浸透禁止物質について記入してください。

(裏)

変更に係る指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 排煙の排出方法概要書 (付表 1)<input checked="" type="checkbox"/> 硫黄酸化物の排出量明細書 (付表 2)<input type="checkbox"/> 窒素酸化物の排出量明細書 (窒素酸化物に係る特定事業所に限る。) (付表 3)<input checked="" type="checkbox"/> 窒素酸化物の排出量明細書 (ボイラーに限る。) (付表 4)<input type="checkbox"/> 窒素酸化物の排出量明細書 (ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに限る。) (付表 5)<input type="checkbox"/> 炭化水素系物質の排出に係る施設の設備概要書及び排出防止処理方法概要書 (付表 5 の 2)<input checked="" type="checkbox"/> ばいじんの排出量明細書 (ボイラー (固体燃料を燃焼させるものを除く。)に限る。) (付表 6)<input type="checkbox"/> ばいじんの排出量明細書 (廃棄物焼却炉に限る。) 及び廃棄物焼却炉の設備概要書 (付表 7)<input type="checkbox"/> 粉じんの処理方法概要書 (付表 8)<input type="checkbox"/> 悪臭の処理方法概要書 (付表 9)<input checked="" type="checkbox"/> 排水の処理方法概要書 (付表 10)<input checked="" type="checkbox"/> 排水の汚染状態及び量等の明細書 (付表 11)<input type="checkbox"/> 地下浸透禁止物質の製造等をする作業に係る施設の構造概要書 (付表 12)<input checked="" type="checkbox"/> 騒音の処理方法概要書 (付表 13)<input checked="" type="checkbox"/> 振動の処理方法概要書 (付表 14)<input type="checkbox"/> 上記書類のほか、指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法を明らかにする図面、表等
------------------------------------	--

該当する項目にチェックをしてください。

- 備考
- 1 (表)は、変更に係る公害発生源の指定施設ごとに記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付してください。
 - 2 変更区分の欄には、新規である場合は、変更後の欄にのみ記入してください。また、配置、使用時間等構造の変更を伴わない変更は、その他の□に☑印を記入し、具体的な変更の内容を()内に記入してください。
 - 3 発生する公害の種類欄には、条例第25条第1項、第28条第1項及び第32条第1項に規定する規制基準が適用される公害の種類を記入してください。大気汚染及び水質汚濁に係るものについては別表第2から別表第6まで、別表第9及び別表第10に掲げる物質名を、粉じん、悪臭、騒音及び振動に係るものについてはその旨を記入してください。
 - 4 公害の程度の予測値又は実測値の欄には、発生源又は排出口、敷地の境界線等での最大値を記入してください。なお、予測値とは設計計算上理論的に証明された数値のことをいい、実測値とは同一施設の実証試験の結果又は類似施設の測定結果をいいます。
 - 5 変更に係る指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法の欄は、第3号様式の付表1から付表14までの書類を用いることとし、添付したのものについて□内に☑印を記入してください。